

|                         |  |               |   |
|-------------------------|--|---------------|---|
| 授業科目名                   | 子どもの健康と安全  | 担当教員名         | 美越 芳枝 / 米澤 慶子   |
| 科目区分                    | 教職・保育に関する科目  | 施行規則に定める科目区分等 | 保育の内容・方法の理解に関する科目   |
| 必修・選択/単位数               | 必修 / 1単位 (15時間)  | 授業方法/担当形態     | 演習 / オムニバス  |
| 開講学年/学期                 | 2年 前期 (1-2期) / 年間開講数 2講座   | 特記事項          | ※実務経験のある教員等による授業<br>保育所所長、保育士として長年にわたる実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。/看護教員、看護師として長年にわたる実務経験を活かして、実例を多く取り上げて授業を行っている。 |
| 授業の概要及び全体目標             | 子どもの健康を守るための安全対策について理解し、保育環境の衛生管理や傷害などの予防、対策について理解する。<br>母子保健・地域保険について学ぶ。  |               |   |
| 到達目標                    | ①保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策について、具体的に理解する。<br>②子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解する。<br>③子どもの疾病とその予防および対処方法、及び安全な保育環境を維持するための衛生管理、安全管理について理解し説明することができる。  |               |   |
| テキスト                    | <美越>「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」(株式会社チャイルド本社)<br><米澤>「保育者・養護教諭を目指す人のための 子どもの保健～健康と安全～」監修：大澤 眞木子、編集：小國 美也子(へるす出版,2018)   |               |   |
| 参考書・参考資料等               | <美越><br>保育の場で活きる「子どもの健康と安全」(建帛社) 高内正子・梶 美保 編著、機関紙「ちやいどネットOSAKA」(NPO法人ちやいどネット大阪) 発行<br><米澤><br>「系統看護学講座 小児看護学—小児看護学概論、小児臨床看護各論」(医学書院,2023)、「子どもの保健 子どもの健康と安全」中根 淳子編著(ななみ書房, 2019)   |               |   |
| 成績評価の方法                 | <美越><br>・内容の理解度：理解度確認(小テストを含めたチェック) 80%<br>・学習への興味：関心・表現力等(レポート、指導案等も含む) 10%<br>・平常点(受講態度等)：10%<br><米澤><br>・内容の理解度：小テスト(筆記形式) 50%+ 理解度確認(チェック) 20%<br>・学習への興味：関心・表現力等(レポート、指導案等も含む) 15%<br>・平常点(受講態度等) 15%                             |               |   |
| 授業外(事前・事後)学習の方法、オフシアワー等 | <美越><br>・全4回の「保育の安全」掛札逸美著の資料を各自が要約し提出をする。<br>・施設実習等において、「子どもの健康と安全」はどのようになっているのかを把握し、課題等を考えていく。<br>・講義内容の質問や不明な点は、授業終了前に聞き取りをしたり、課題レポート提出の際に記載することにより解決を図る。<br><米澤><br>授業終了後(講師控室)で使用するテキストを事前に呼んでから授業に臨んでください。各授業の予習復習に必要な時間は1時間程度です。 |               |   |
| 授業計画                    | 授業の内容  | 到達目標番号        |   |
| 第1回                     | 1. 子どもの健康と保育(担当：美越)<br>・保育所保育指針「第3章 健康及び安全」の内容を理解。<br>・保育の場における子どもの健康の維持増進を図る活動について学ぶ。   | ①,②           |   |
| 第2回                     | 2. 保育における健康と安全(担当：美越)<br>・保育所保育指針改定の背景と「第3章 健康及び安全」<br>・保育者の自己管理とその必要性<br>・子ども視界の体験的理解(子ども視界の眼鏡を制作し体験する)   | ①,②           |   |
| 第3回                     | 3. 保育の安全(担当：美越)<br>① 熱中症、大雨や台風等の気象災害から命を守る<br>② 「ケガ」はどれも一緒? 「とにかく予防!」?<br>③ ケガのリスクは、価値と背中合わせ<br>④ 体を動かす価値(とリスク)を伝え続ける<br>⑤ 誤嚥窒息: 「安全」「安心」「責任」は違うもの<br>⑥ 「責任」の視点から深刻事故予防を<br>⑦ 新型コロナのもと、「子ども中心」の再確認を                                    | ①             |   |
| 第4回                     | :健康を守るガイドラインや保健計画を学ぼう①(担当：美越)<br>1. 幼児期運動指針と動きの獲得<br>2. 保健計画   | ①,②           |   |
| 第5回                     | :健康を守るガイドラインや保健計画を学ぼう②(担当：美越)<br>3. 感染症ガイドラインと保育者の等の確認<br>4. 食育基本法と食育  | ①,②           |   |
| 第6回                     | 子どもの保健に関わる個別対応と集団全体の健康安全管理<br>子どもの体調不良や傷害が発生した場合について(応急/救急処置、救急蘇生法)(担当：米澤)   | ③             |   |
| 第7回                     | 各感染症の感染源、感染経路、宿主の抵抗力<br>感染症の集団発生の予防および対応策(担当：米澤)   | ③             |   |
| 第8回                     | 子どもの心の健康とその課題、障害のある子どもへの対応(ADHD アスペルガーなど)<br>母子保健・地域保健と保育(担当：米澤)   | ③             |   |